

WAYプロジェクト 第一回

2020年7月2日（木）

昨年度から始まったWAYプロジェクトを、今年度も引き続き行なっていきます。7月2日（木）に第1回を迎えることができました。昨年度に引き続き、PTA会長の石口さん、運営協議会会長の仲川さん、大阪市立大学の土屋先生、葛小中学校の松田先生、秋津小学校の岡田先生が、今年度もWAYプロに参加くださいました。



今回は、「今年度どのようにWAYプロジェクトを進めていくか」をテーマにしました。

まずは参加者の先生方に、コロナで休校が続いた中、各学校の道徳の授業がどのようになされているかを聴きました。各学校とも授業時間確保のために道徳の授業を削るということはなく、丁寧に考えられた道徳の授業が進められていました。

情報共有の後、本題に入っていました。本校では、昨年度取り組んできたWAYプロジェクト、哲学対話、ソクラティックダイアログを踏まえて、学校長が全学年の道徳の授業を行なっています。その中でジレンマについて取り扱われています。生徒たちが考えたジレンマストーリーの中の 하나가、話題に上がりました。

「実力テスト前に勉強しなければならないのはわかっている。でもスマホでYouTubeを見出すと止まらない。誰か僕のやる気スイッチ押してよ。」

というストーリーでした。

仲川さんの、「やる気スイッチ、誰が押すのかな。誰に押してもらいたいのかな。」という言葉から、みんなで「誰」なのかを考え始めました。親、先生、友達、自分自身……。次に、どんな風な押し方があるのかについて考えました。励ましたり、怒ったり、アドバイスをしたり……。そんなことを考える中で、生徒たちは内容項目の主として自分自身に関することを考えていくのではないかと感じました。



今年度のWAYプロジェクトは、今回のように道徳の授業を検討していき、多様な立場から、多様な着眼点で意見を出し合っ、生徒たちが自らの生き方について考えられる授業づくりを行なっていく方向に、まずはなりました。

次回は、7月16日（木）19時から大正中図書館にて行います。いつでも新たなメンバーをお待ちしております！

（文責：松浦）